

都市再生整備計画 事後評価シート(原案)
暘谷駅周辺地区

平成22年10月

大分県日出町

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	大分県	市町村名	日出町	地区名	暁谷駅周辺地区			面積	44.1ha		
交付期間	平成18年度～平成22年度		事後評価実施時期	平成22年度		交付対象事業費	613百万円	国费率	0.4		
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路(町道暁谷駅北口線、町道二の丸南浜線)、地域生活基盤施設(緑地)、高質空間形成施設(電線類地中化)、既存建造物活用事業(隣接地域交流センター)								
		提案事業	地域創造支援事業(信号機設置事業(暁谷駅北口駅前線))、まちづくり活動推進事業(地元NPOによるイベント企画策定)								
	当初計画から削除した事業	基幹事業	・地域生活基盤施設(駅前広場)	・周辺土地利用が未確定のため駅前広場を削除		・駅前交流人口への影響はあるが、指標は据え置く					
		提案事業	なし	-		-					
	新たに追加した事業	基幹事業	・道路(町道二の丸南浜線(山荘前)、町道日出小学校線、町道佐尾線) ・既存建造物活用事業(隣接地域交流センター) ・高次都市施設(日出町観光交流センター)	・歴史的まちなみの回遊性を図るため ・歴史的建造物の復元・活用や観光拠点の整備により観光交流をはかるため		・指標「観光客数」の目標値を上方修正 ・市場「イベント数」をイベント参加数に変更					
		提案事業	・地域創造支援事業(ふれあい茶屋建設事業(町道日出小学校線)) ・事業活用調査(事業効果分析に関する調査)	・観光交流、地域交流の形成を図るため		・指標「観光客数」の目標値を上方修正 ・市場「イベント数」をイベント参加数に変更					
交付期間の変更	当初変更	平成18年度～22年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-						
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標1	観光客数	人/年	41,000	平成16年度 50,000	平成22年度 70,385	モニタリング 評価値	○	あり なし	観光交流センターの事業等により観光基盤が整備され、地元まちづくり団体によるイベント企画が策定されることで観光需要が創出され、観光客が増加した。	平成24年5月
	指標2	地区内人口	人	1,538	平成16年度 1,580	平成22年度 1,628	モニタリング 評価値	○	あり なし	道路整備とともに関連事業の公共下水道事業や水道整備事業で住環境が向上し、大分市や別府市のベッドタウンとして認知されてきたため、大幅な人口増となった。	平成24年4月
	指標3	イベント参加者数	人/年	386	平成17年度 600	平成22年度 619	モニタリング 評価値	○	あり なし	観光交流センターを活用し、地元まちづくり団体によるイベント企画を実行することでイベントへのボランティア参加者数が増加した。	平成24年5月
	指標4	駅前交流人口	人/日	1,540	平成15年度 1,700	平成22年度 1,646	モニタリング 評価値	△	あり なし	観光客数及び区域内人口は増加したが、社会経済の低迷や高速道路料金の休日上限1,000円などの要因により、車両での来訪が増加したと考えられる。しかし、大分県平均でJRの乗降客数が減少している中で、暁谷駅は増加傾向を示していることや、観光客数、地区内人口が増加していることから、事業効果は発揮されているものと考えられる。	平成24年5月
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1	再訪意向	%	-	-	97	モニタリング 評価値	△	あり	道路事業による歴史的街並み空間の整備や観光交流センター等の整備により、賑わい空間の機能が強化され、魅力が向上した。	平成24年5月
4) 定性的な効果発現状況	「観光大型バスの駐車可能台数が増えるとともに、観光案内所が一新したことで利便性が良くなった」「歩道の整備や無電化によって、歩きやすくなった」「無電化や景観舗装によって、一層風情ある歴史的なまちなみとなった」等の声が町民や施設利用者からできている。										
5) 実施過程の評価	実施内容				実施状況				今後の対応方針等		
	モニタリング	なし			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-		
	住民参加プロセス	まちづくり団体に依頼しているイベント等について、月に1回程度の会議を開き、町及び地元住民を中心に、新聞社の方々も含みながら、計画から実施に向けて話し合いながら実施			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● より良い企画策定に向け、今後もイベント企画策定の会議を継続していく。また、イベントに限らず、「まちづくり」全般に関する話し合いの場を設ける。		
持続的なまちづくり体制の構築	まちづくり団体に依頼している各種イベントの良かった点、悪かった点等をとりまとめた報告書の確認及びヒアリングの実施より、来年度以降、持続的に開催しているイベントを検討			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 報告書の確認やヒアリングを継続的に行うことで、イベントの内容の向上を図り、まちづくり団体活動の活性化を促す。			

